

劇団なんじゃもんじゃ

「虫を殺してもバチが当たる」

殺生を嫌っていた農村の青年は

軍服を着て海を渡り、

いつしか鬼となっていた。

ひとり芝居

悔悟の記録

かいご

——ある憲兵のものを語る——

第二次世界大戦中の中国で

328人を殺し、

1917人を逮捕・拷問・投獄した

元憲兵が語る「本当の戦争」。



……あれは入営2か月頃のことだったかな。

農民姿の中国人を刺し殺すことになったんだ。

『今度はお前が突き殺せ!』って上官が言うんだ。

『もしオレがやらなかったらみんなに何と言われるか』と思ってね、大きな声を上げて突っ込んでいったんだ。

……そしてね、だんだんに手柄を立てたいという気持ちになってね、次々と殺すようになったんだ。

感想より

日本軍が中国の人々に本当にひどいことをしていたのを知って気分が悪くなった。教育って恐ろしい、誰でも鬼になってしまう素質がある気がして恐いと思った。(中略) その時代に生きた方のことを知って、戦争がいかに恐ろしく残酷なものなのか、そして、はかり知れない数の犠牲者を生むにもかかわらず、どんなに無意味なことなのか、わかり過ぎるほど分かった。(高校生)

劇団
なんじゃもんじゃ

TEL/FAX. 0573-72-5655

〈作・演出／ふじた あさや 出演／西尾 瞬三〉

〒508-0203 岐阜県中津川市福岡942-1

E-Mail: nanja@lily.ocn.ne.jp